



令和3年12月22日（水） オンラインシンポジウム  
「自治体のおでかけ政策の統合を目指して～交通と福祉の垣根を越える！」



# 日進市高齢者移動支援推進事業 について

～住民主体の支え合いの仕組みとして～

令和3年12月22日  
日進市健康福祉部地域福祉課



# 目次



- 1 概要（位置・概要、将来人口推計 等）
- 2 交通機関・福祉有償運送の状況、移動支援に関する福祉サービス
- 3 日進市高齢者移動支援推進事業について
  - ・概要
  - ・令和2年度実施内容
  - ・モデル事業実施地区の実施状況

住民主体の支え合いの仕組みとしての移動支援、取組状況

（参考）移動制約者の状況、福祉施策に関するアンケート調査



# 日進市の位置・概要



人口	92,972人	(令和3年11月末現在)
世帯	38,538世帯	
高齢者数(率)	18,805人	(20.2%)
平均年齢	42.19歳	
平均寿命	男82.1歳 女87.8歳	(平成27年)
	※県内市町村においては男女共に1位	
要介護認定率	16.11%	(令和3年3月末現在)



# 日進市の将来人口推計



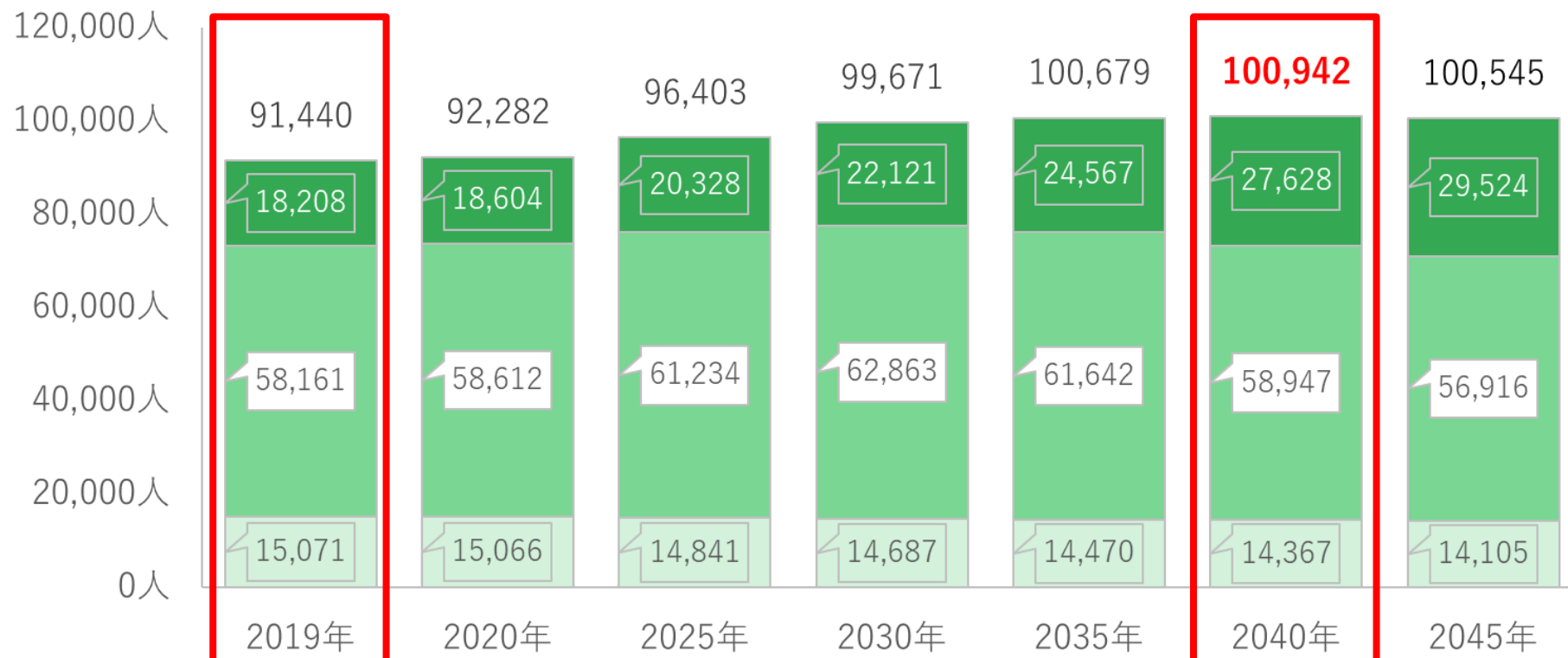
○総人口は2040年をピークに減少に向かう。

○年少（～15歳未満）人口や生産年齢（15～64歳）人口も減少傾向となるが、老年（65歳～）人口は増加を続ける。特に2040年までの10年間での増加が顕著。

出典：令和元年度日進市推計値

## 年齢別人口推移

■ 15歳未満 ■ 15-64歳 ■ 65歳以上





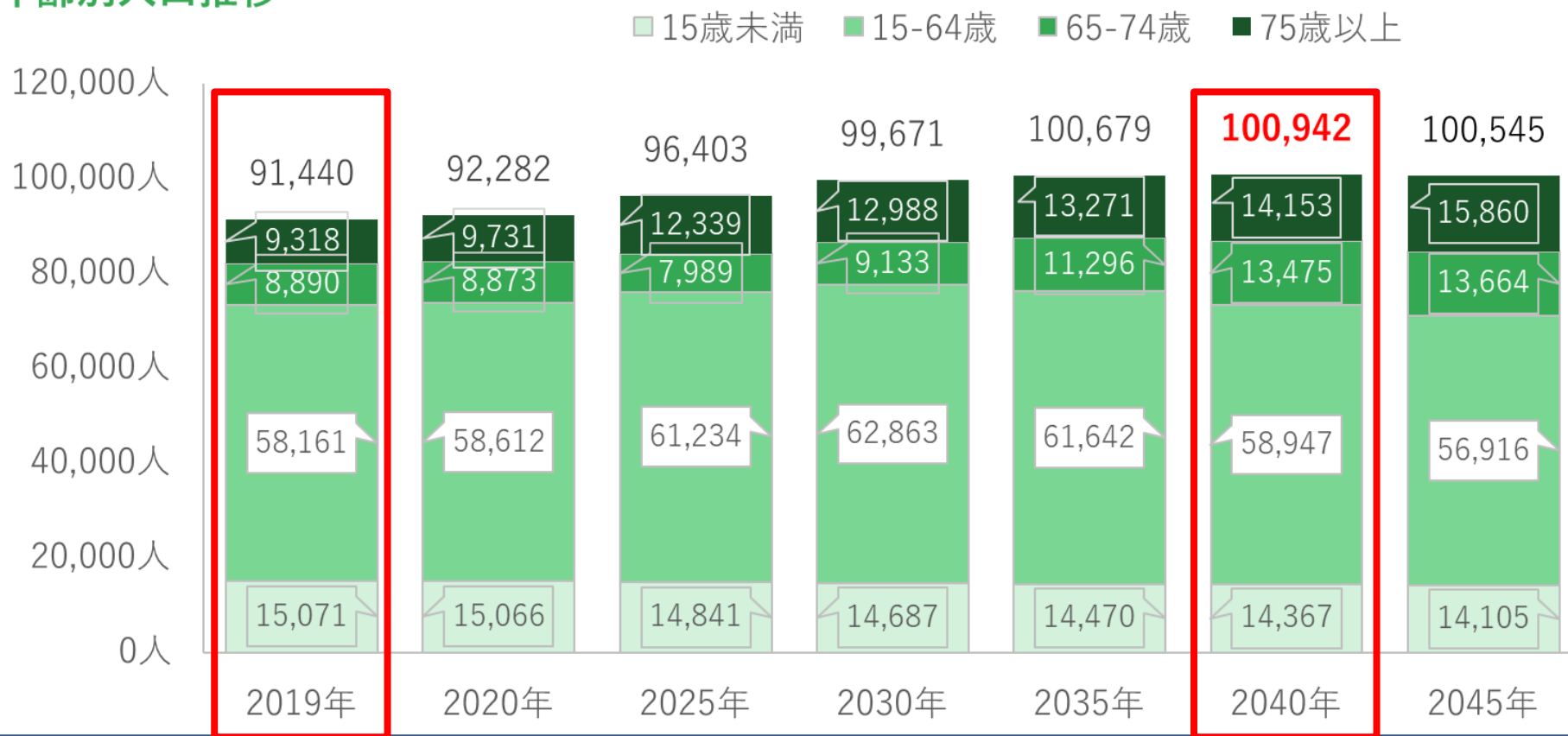
# 日進市の将来人口推計



○老年人口を前期高齢者（65～74歳）と後期高齢者（75歳～）とに分けると、2025年に後期高齢者人口が大幅に増加する。

出典：令和元年度日進市推計値

## 年齢別人口推移

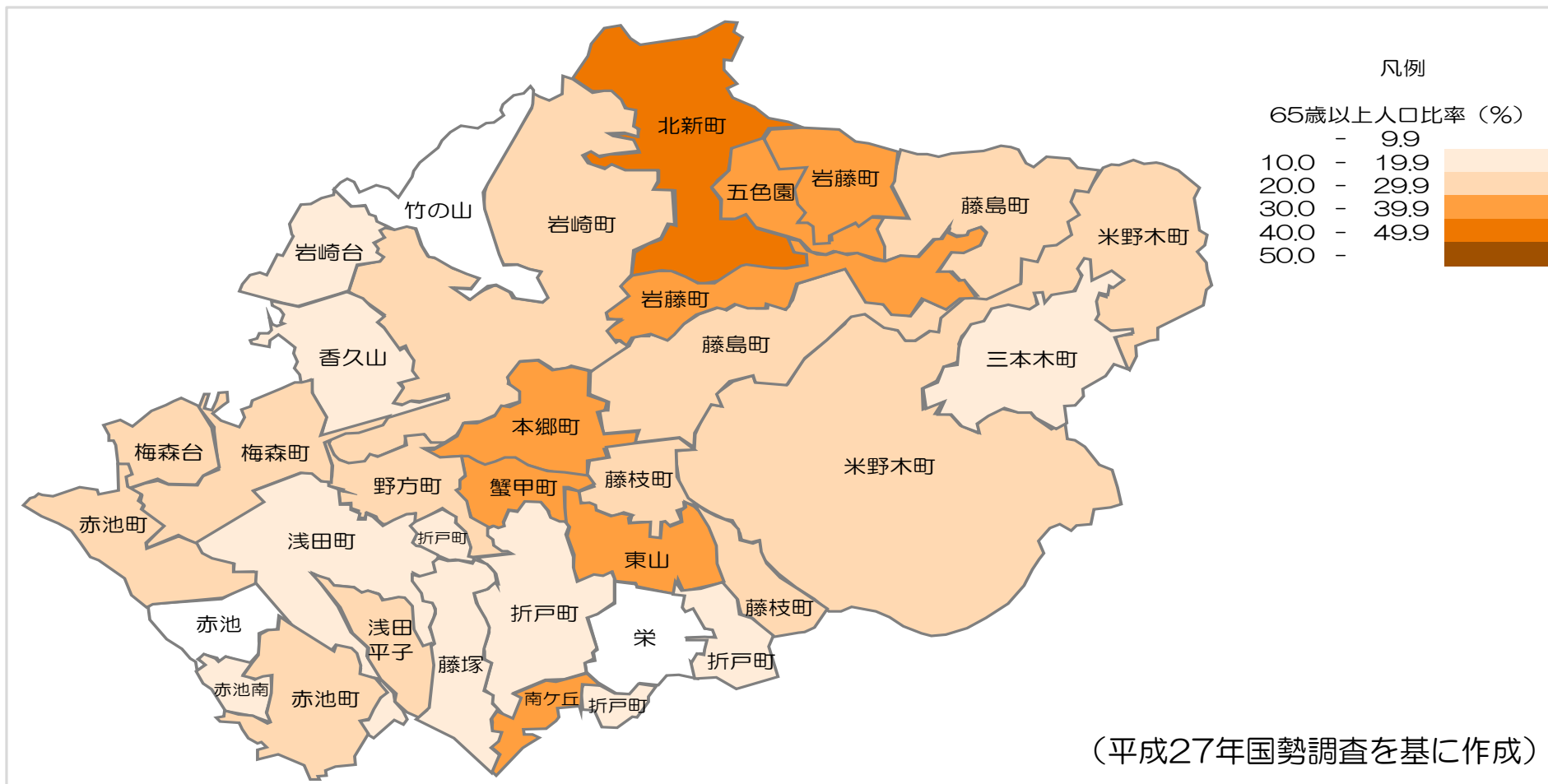




# 日進市の町別65歳以上人口比率



○町別に65歳以上人口比率を比較すると、65歳以上人口比率が30%を超えている地域は市内に7地域ある一方で、10%未満という地域が3地域ある。



# 日進市における交通機関の状況

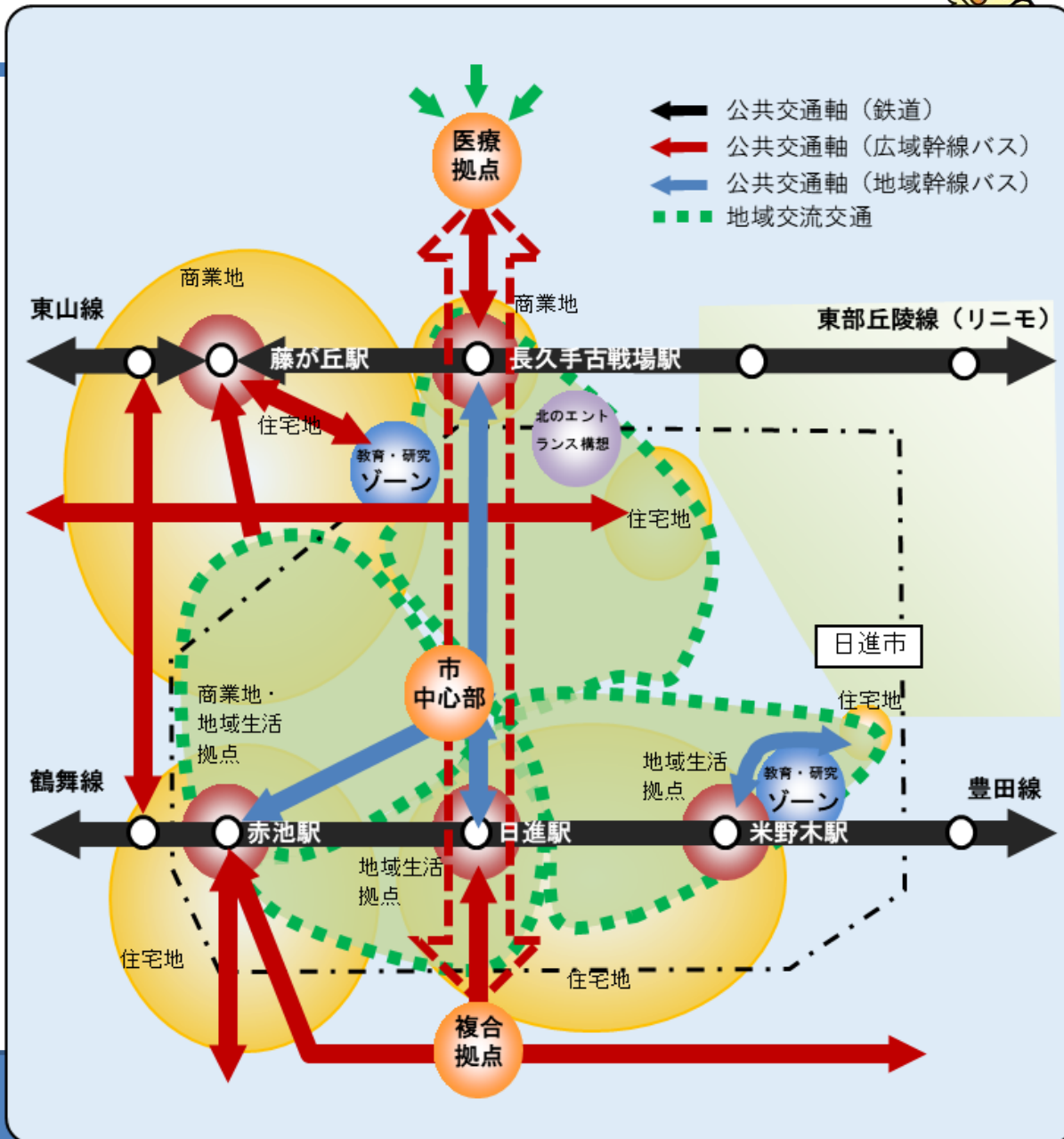


## 1) 公共交通網形成計画に描かれた将来像

◎鉄道及び路線バスを公共交通軸とし、くるりんばすやタクシー等の交通機関が相互に連携することで、「公共交通を利用して、誰もが安心して出かけられる、交通環境が充実したまち」の形成を目指す。

## 2) 日進市地域公共交通の基本方針

- ① 高齢化社会への対応として、誰もがわかりやすく、安全で利用しやすい公共交通とします。
- ② 移動ニーズへの対応として、周辺市町への移動がしやすい公共交通ネットワークを形成します。
- ③ 公共交通の利用促進として、魅力的な移動環境を創出します。
- ④ まちづくりとの一体化により、「いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市」の実現に向けた戦略的な公共交通体系を構築します。
- ⑤ 多様な主体の連携により、持続可能な公共交通維持システムを構築します。





名鉄バス 日進市内巡回バス

時刻表

利用案内

- 1.乗車時間 10分(平日) 15分(土曜・日)
- 2.乗車料 乗車回数により異なる(乗車回数1回100円)
- 3.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 4.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 5.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 6.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 7.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 8.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 9.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)
- 10.乗車回数 乗車回数1回100円(乗車回数2回200円)

### 市役所周辺

### 長久手古戦場駅周辺

### 平針駅周辺

#### ぐるりんバス回数券・定期券案内

回数券 100円/身12枚/額1,000円

乗車回数	100円	200円	300円	400円	500円
乗車回数	12回	24回	36回	48回	60回
有効期間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月
乗車料	100円	200円	300円	400円	500円

#### ぐるりんバス乗継割引案内

乗継回数	100円	200円	無料
乗継回数	1回	2回	3回以上
乗継料	100円	200円	無料

#### バスロケーションシステム

バスがいつ来る「今どこ」がわかります

ぐるりんバス乗車案内

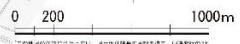
<http://navi.meitetsu-bus.co.jp/missh/>

#### 赤池駅周辺

#### 赤池駅周辺

#### 日進駅周辺

#### 米野木駅周辺



0 200 1000m





# 日進市における交通機関の状況



## 1 市内巡回バス（くるりんばす）

### （1）運行実績

系統路線名	系統距離 (km)	運行開始年月	1日運行回数 平日（土休日）	年間利用者数（人） 令和2年度実績
循環線	5.4	平成29年4月	21（21）	36,724 (54,607)
赤池線	14.4	平成29年4月	11（8）	43,227 (63,766)
梅森線	14.4	平成29年4月	11（8）	32,223 (43,899)
五色園線	17.6	平成29年4月	11（8）	51,423 (72,097)
岩崎線	16.4	平成29年4月	11（8）	20,568 (30,042)
三本木線	17.7	平成29年4月	11（8）	25,434 (31,750)
米野木線	17.3	平成29年4月	11（8）	17,806 (27,453)
合計				227,405 (323,614)



# 日進市における交通機関の状況



## 1. 市内巡回バス（くるりんばす）

### （2）運賃

一乗車200円（循環線は100円）

manaca（マナカ）等交通系ICカード使用可

### （3）無料対象者及び無料パスカード発行枚数（令和2年度実績）

中学生以下の子ども	—
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及び介護保険法による介護認定（要支援も含む）を受けている方と付き添いの方1名	242枚
ひとり親家庭等医療費受給者証所持する方	29枚
障害者医療費受給者証を所持する方と付き添いの方1名	3枚
後期高齢者福祉医療費受給者証を所持する方と付き添いの方1名	5枚
自立支援医療費（精神通院医療）受給者証を所持する方と付き添いの方1名	48枚



# 日進市における交通機関の状況



## 1. 市内巡回バス（くるりんばす）

### （4）回数券

100円券12枚つづり 1,000円

### （5）定期券 ※下段は令和2年度販売実績

区分	1か月	3か月	6か月
一般	6,000円 (45枚)	17,000円 (8枚)	32,500円 (9枚)
学生 (高校・大学・専門学校等)	4,000円 (35枚)	11,000円 (7枚)	20,000円 (6枚)
高齢者 (市内在住の65歳以上)	1,200円 (458枚)	3,000円 (270枚)	5,000円 (306枚)





# 日進市における交通機関の状況



## 2 タクシー（令和3年3月31日時点、令和2年度実績）

市内事業所数	車両数	輸送回数	輸送人員
1社	41両 (48両)	150,120回 (287,869回)	173,474人 (357,824人)

参考：名古屋タクシー交通圏（名古屋市、瀬戸市、津島市、尾張旭市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、愛知郡、西春日井郡、海部郡）におけるタクシー事業者数は87社。

## 3 名古屋タクシー交通圏の福祉タクシー運行事業者（令和3年3月31日時点）

タクシー兼業者	福祉専業（法人）	福祉専業（個人）	福祉車両合計
6社 (8社)	66社 (74社)	87事業者 (83事業者)	270両 (280両)

## 4 市内福祉タクシー・介護タクシー事業所（令和3年3月31日時点）

福祉タクシー・介護タクシー	車いす対応車両	リフト対応車両
2社	2両	2両



# 日進市における福祉有償運送の状況



## 1 福祉有償運送（令和2年度実績）

住所地 / 名称 / 代表者氏名	登録番号	登録の有効期間	利用登録者数	延利用回数
日進市蟹甲町 / 特定非営利活動法人 ビッグサポ-トあいの家 / 理事長 早川 真理	中愛福 第136号	令和3年1月6日 ～ 令和6年1月5日	36人 (29人)	699回 (411回)
日進市竹の山 / 特定非営利活動法人 健やかネットワーク / 理事長 諏訪 正美	中愛福 第137号	令和3年1月15日 ～ 令和6年1月14日	18人 (11人)	127回 (111回)



# 日進市における福祉有償運送の状況



## 2 国土交通省認定福祉有償運送ドライバー認定講習会の開催（長久手市と共催）

### 令和元年度開催実績

- ・日 時 令和元年10月6日（日）
- ・修了者 29名（うち日進市 13名）

#### 【活動状況等に関するアンケート】

問 福祉有償運送ドライバー等として活動されているか？

- ・福祉有償運送実施事業所に所属 4名
- ・地域での支え合い活動の一環として移動支援活動に参加 2名

### 令和2年度開催実績

- ・日 時 令和2年10月4日（日）
- ・修了者 20名（うち日進市 9名）

#### 【活動状況等に関するアンケート】

問 福祉有償運送ドライバー等として活動されているか？

- ・福祉有償運送実施事業所に所属 2名
- ・地域での支え合い活動の一環として移動支援活動に参加 2名





# 日進市における福祉有償運送の状況



## 2 国土交通省認定福祉有償運送ドライバー認定講習会の開催（長久手市と共催）

### 令和3年度開催実績

- ・日時 令和3年10月10日（日）
- ・修了者 20名（うち日進市 7名）

#### 【受講後のアンケート】

問 福祉有償運送のドライバーとして活動したいか？

- |          |    |           |    |
|----------|----|-----------|----|
| ・ぜひ活動したい | 0名 | ・もう少し考えたい | 4名 |
| ・活動してもよい | 2名 | ・活動したくない  | 1名 |



# 日進市における移動支援に関する 福祉サービス



## 1 移送サービス

要支援・要介護に認定され、日常生活において寝たきり状態又は常時車いすを必要とする人が、本市と委託契約した業者の特殊車両を利用して医療機関への通院及び入退院又は福祉施設への通所及び退所した場合、これにかかる費用の7割～9割（1回3,000円以内、2回まで/1月）を支給する制度。

年度	事業者数	延支給件数
平成30年度	37	558件
令和元年度	38	456件
令和2年度	38	426件

※市外の事業者含む。ストレッチャー装備者又はリフト付き車両を使用。



# 日進市における移動支援に関する 福祉サービス



## 2 障害者等タクシーチケット

身体障害者手帳1～3級の人、療育手帳A・B判定の人、精神障害者保健福祉手帳1～2級の人を対象としたタクシー料金助成事業制度。

タクシー及び福祉有償運送（平成29年4月以降の利用から）の利用1回につき650円（リフト車2,000円）を上限とし、年間48回（リフト車24回）の利用が可能。

年度	事業者数	延利用者数	延利用回数
平成30年度	64	726件 ※内、福祉有償運送49件	11,685件 ※内、福祉有償運送108件
令和元年度	67	719件 ※内、福祉有償運送64件	11,321件 ※内、福祉有償運送133件
令和2年度	71	590件 ※内、福祉有償運送100件	8,723件 ※内、福祉有償運送254件





# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



## 愛知県からの事業委託の概要

### 目的

急速に高齢化が進行するなか、運転に不安を持つ高齢者が、自家用車に依存しなくても生活できる環境を整備するため、高齢者のための移動手段を確保、拡大すること。

### 実施形態

愛知県からの事業委託（モデル事業として実施）

※受託市町：瀬戸市、半田市、犬山市、日進市、北名古屋市、設楽町

（事業委託までの経過）

令和2年3月 6日	企画提案募集開始
3月17日	企画提案書提出
3月27日	プレゼンテーション審査
3月30日	選考結果通知

### 実施期間

令和2年度からの3年間



# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



## 3年間のモデル事業で目指す姿

- いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために「移動・外出」は欠かせない要素。
- 3年間のモデル事業を通じて、日常生活での外出（医療機関等への通院、スーパー等への買い物、金融機関等での用事）だけを支援するのではなく、「外出したくなる」「外出がより楽しくなる」「地域の方とのつながりができる」ための+アルファの付加価値（行先）を付けた移動支援モデルの創出を目指す。
- 具体的には、
  - ①ワンコインサービス等住民主体による家事等支援と一体として実施する家事支援一体型モデル
  - ②日常生活で必要な外出につどいの場や介護予防教室等への移動を組み合わせた介護予防一体型モデル
- 都市交通としての側面を持つくるりんばすとその交通網を補完する住民主体の移動支援とが有機的に連携した公共交通網の形成を目指す。



# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



**赤枠の部分**：一般・乗合で定時・定路線で定期運行する「くるりんバス」

**青枠の部分**：NPO法人が自家用車を用いて運行する「福祉有償運送」

**緑枠の部分**：道路運送法の規定外で許可・登録を要しない輸送

種類		特徴
バス	路線バス	路線やバス停、運行時刻を定めて定時・定路線で運行するバス。通勤・通学、通院など地域住民の生活に欠かせない公共交通機関。
	コミュニティバス	路線バスで対応しきれないニーズに応えるため、市町村が主体的に計画し、定時・定路線で運行するバス。
	デマンドバス	区域を定めて、利用者の要望に応じて、機動的に最短ルートを行ったり、利用希望のある地点まで送迎したりするバス。
タクシー	タクシー	子供からお年寄りまで幅広い利用者の日常生活における多様な移動ニーズに応える、ドアツードアのきめ細かいサービスを提供する公共交通機関。
	乗合タクシー	地域の生活交通を維持するため、タクシー事業者が自治体と連携して提供する乗合の運送サービス。定時・定路線からデマンドまで地域のニーズに応じて多様な形態で運行。
自家用有償旅客運送		バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービス。
道路運送法の許可・登録を要しないもの(互助)		地域の移動手段の確保のため、道路運送法の許可又は登録を要しない助け合いによる運送。(收受することが可能な範囲は、運転者が実際の運送に要するガソリン代、道路通行料、駐車場料金、自発的な謝礼)

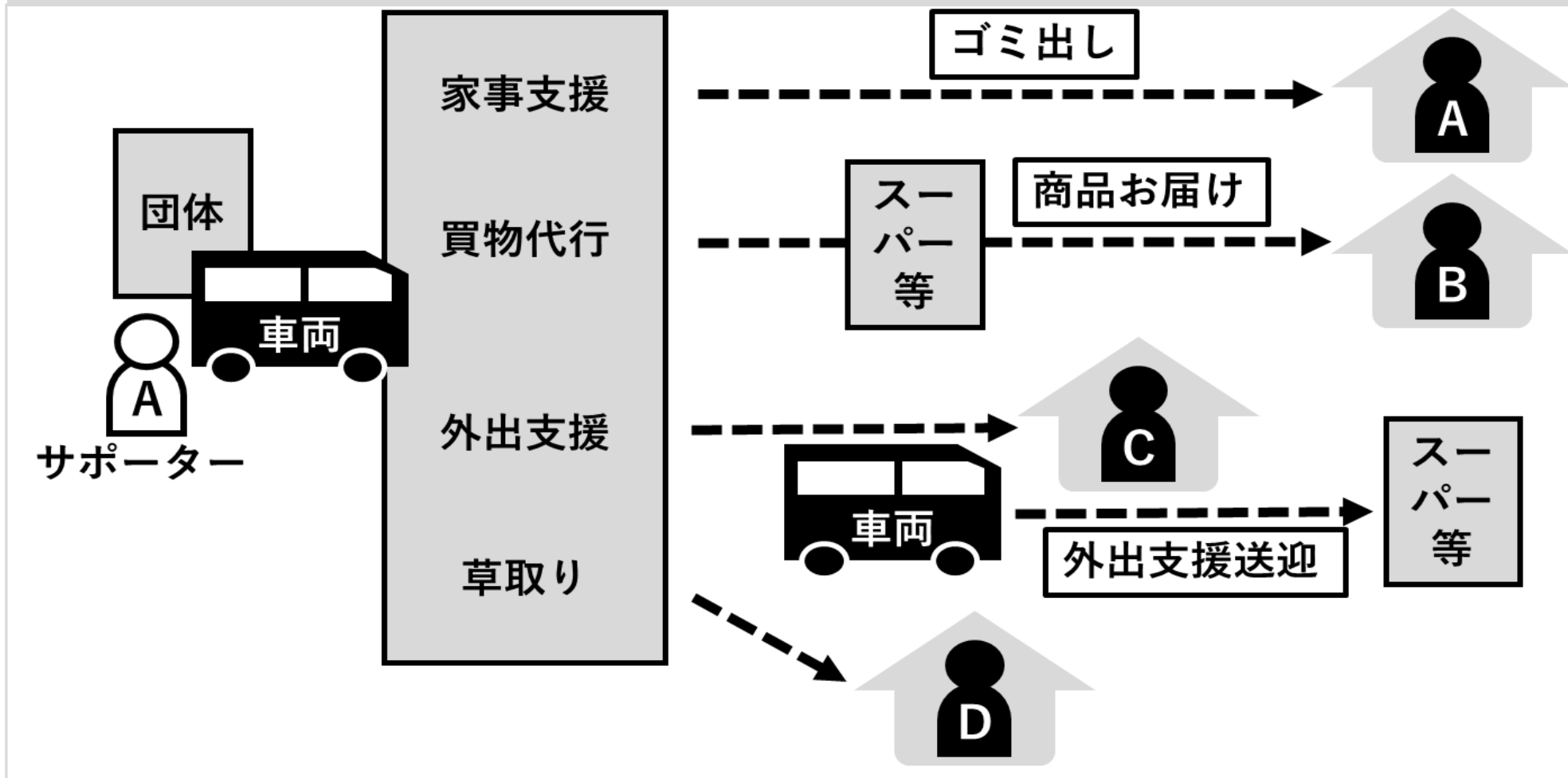




# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



## ①家事支援一体型モデルのイメージ

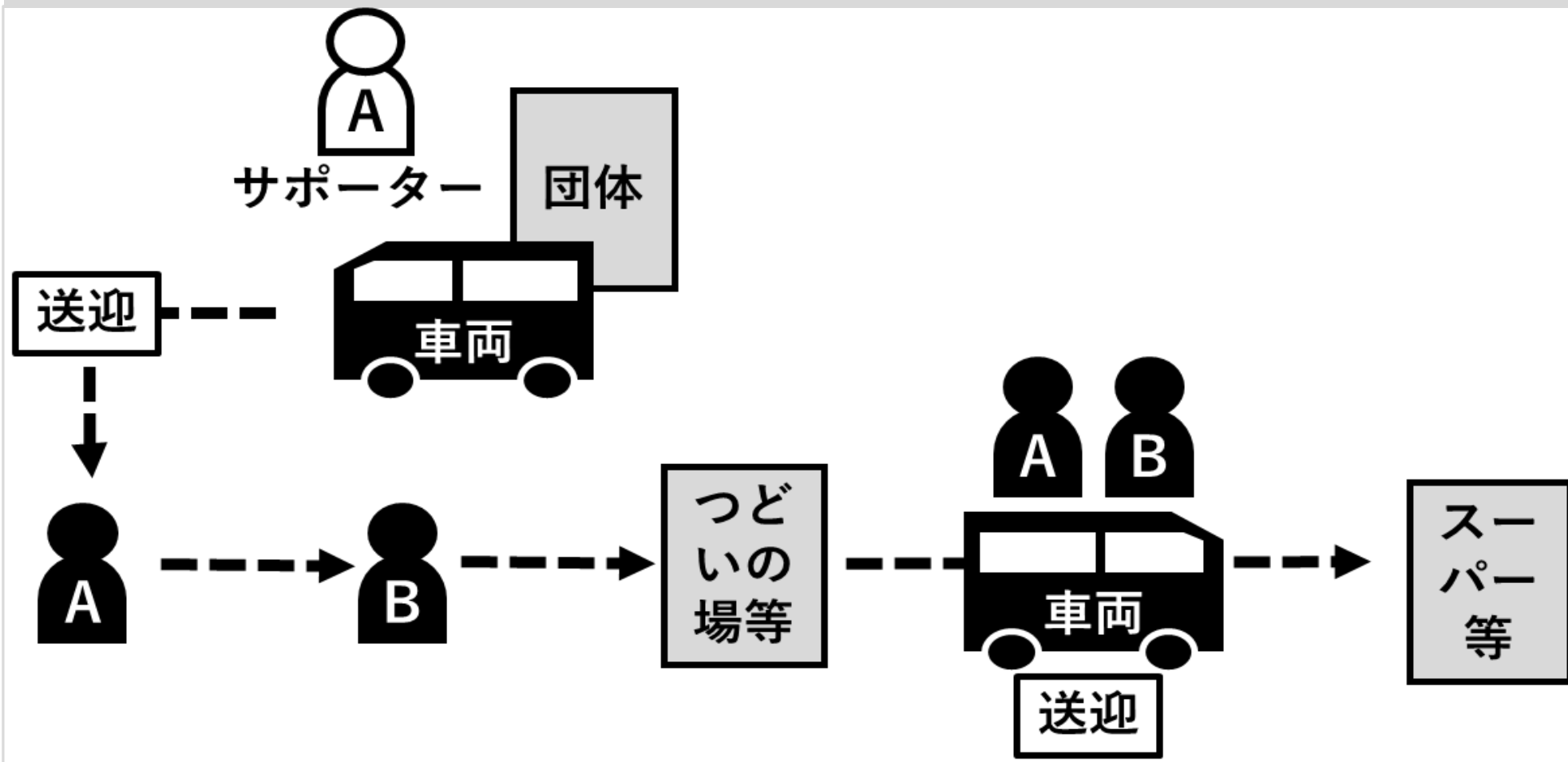




# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



## ②介護予防一体型モデルのイメージ





# 住民主体の支え合いの仕組みとしての 移動支援



きっかけは、住民の方からの声

- ごみ出しや家具の移動、お庭の草むしり、電球交換、見守り、身近なつどいの場への送迎など、高齢者の日常生活における困りごとはたくさんある。かつ、困っている方の顔が具体的に思い浮かぶ。
- こういった日常生活におけるちょっとした困りごとに対して、高齢化が進む地域や今後高齢化が見込まれる地域の住民から、「プロにお願いするほどのものではないが、将来に備えて、行政に頼るばかりではなく、**自分たちでできることはないのか**」という**声も**。
- 困りごとを、住民どうしの支え合い・助け合いの仕組みによって解決しようとする動きへ。ただ、地域によって困りごとは異なるし、解決のためのしくみもそれぞれ。**大事にしたいのは、その地域に住む方にとっての困りごとはなにか、解決のために住民として何ができるのか（何ができないのか）を、住民の方自身が気づき、考えていくこと**。住民の方がモヤッと考えているところに、行政や生活支援コーディネータ（SC）からの働きかけによって、具体的な形が見えてくることもある。



# 住民主体の支え合いの仕組みとしての 移動支援



日進市内に

## 生活支援コーディネーターを 設置しています!

回覧

Q:なぜ、生活支援コーディネーターが配置されているのですか?

助けが必要な日常の生活支援は「地域の住民が主体になって支えていこう」と介護保険が改正され、生活支援コーディネーターが配置されるようになったのです。

例えば...



第2層生活支援コーディネーター ※生活圏域ごとに地区を担当

地域別に住民の方と一緒に支え合いの仕組みづくりを行います!

西部地域	中部地域	東部地域
池谷 香織	荒川 裕子	村居 多美子、浅野 理絵
竹の山1丁目2101 ㈱アンジュ 事務所内 ☎0561-74-0775	東山1丁目117 (有)はじめの一歩 事務所内 ☎0561-72-5028	三本木町下川田18 (特非)介護サービスさくら事務所内 ☎0561-75-5105
赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台	蟹甲・折戸・栄(1・2丁目)・本郷・岩崎・岩崎・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山	藤枝・米野木・三本木・藤島・北新・五色園・栄(3~5丁目)

いつまでも「自分の家で」  
「住みなれた地域で」暮らしたいから...

回覧

ちょっとした困りごとがあれば...



みんなで支え合って、解決していきましょう!





# 住民主体の支え合いの仕組みとしての 移動支援



行政、社会福祉協議会、生活支援コーディネータの基本的な心構え

## 心構えその①

行政等は、住民の方が考えるためのきっかけや場づくり、素材の提供が基本。

- 例) チラシの回覧による啓発
- 講演会による他地域の取組紹介
- 住民アンケートのひな型提供
- 打ち合わせへの参加

## 心構えその②

やる・やらないも含めて、決めるのは住民の方の選択。ワンコインサービスや移動支援を含めた支え合いを実施するかどうかは、あくまで結果論。

- 例) 「ありき」「やりませんか」で話を進めない
- 地域ごとのばらつきを恐れない
- 「やらない」と決めたことも尊重

## 心構えその③

住民の方がやる、と決めたら全力で支援する。





# 住民主体の支え合いの仕組みとしての 移動支援



住民主体の支え合いだからこそ生まれる効果

○移動支援が目的ではなく、地域づくりが最終的な目的

- 例) 毎週利用するはずの方が乗らない → 見守り
- 通院や買い物以外の外出控え → 外出のきっかけづくり

○利用する方、支援する方双方にとっての生きがいや介護予防

「地域公共交通計画」との連携に向けて（福祉部局から）

○現在、地域公共交通計画を策定中につき、福祉部局からお願いしたこと。

- ・住民主体の移動支援「ありき」の計画としないこと。  
→公共交通と住民主体の移動支援は、スタートラインが別。
- ・福祉有償運送事業者や移動支援実施地区へのヒアリング  
→公共交通が利用できない方、地域の取り組み等への目配せ。

○住民主体の移動支援については、過渡期。道路運送法等上の整理・解釈の統一や、住民が移動支援を担うことへの社会的な理解も必要。



# これまでの移動支援に関する取組状況



にっしん地域支え合い円卓会議―地域の支え合いに関する講演会―を開催

## 令和元年度第1回

### ①内 容

- ・講演『住民等が担う移動・外出支援について』  
講師：河崎 民子氏（NPO法人全国移動サービスネットワーク）
- ・第2層協議体（3地区に分かれて意見交換）

SCによる  
企画運営

②日 程：令和元年7月15日（月・祝）

③参加者：98名

## 令和元年度第2回

### ①内 容

- ・講演『移動支援の現状』  
講師：遠山 哲夫氏（NPO法人移動ネットあいち）
- ・パネルディスカッション（日進市における移動支援の取組紹介）

SCによる  
企画運営

②日 程：令和元年11月30日（土）

③参加者：87名



# これまでの移動支援に関する取組状況



国土交通省認定福祉有償運送ドライバー認定講習会の開催（長久手市と共催） ※再掲

## 令和元年度開催実績

- ・日 時 令和元年10月6日（日）
- ・修了者 29名（うち日進市 13名）
- 【活動状況等に関するアンケート】
- 問 福祉有償運送ドライバー等として活動されているか？
  - ・福祉有償運送実施事業所に所属 4名
  - ・地域での支え合い活動の一環として移動支援活動に参加 2名

## 令和2年度開催実績

- ・日 時 令和2年10月4日（日）
- ・修了者 20名（うち日進市 9名）
- 【活動状況等に関するアンケート】
- 問 福祉有償運送ドライバー等として活動されているか？
  - ・福祉有償運送実施事業所に所属 2名
  - ・地域での支え合い活動の一環として移動支援活動に参加 2名



# これまでの移動支援に関する取組状況



国土交通省認定福祉有償運送ドライバー認定講習会の開催（長久手市と共催） ※再掲

## 令和3年度開催実績

- ・日時 令和3年10月10日（日）
- ・修了者 20名（うち日進市 7名）

### 【受講後のアンケート】

問 福祉有償運送のドライバーとして活動したいか？

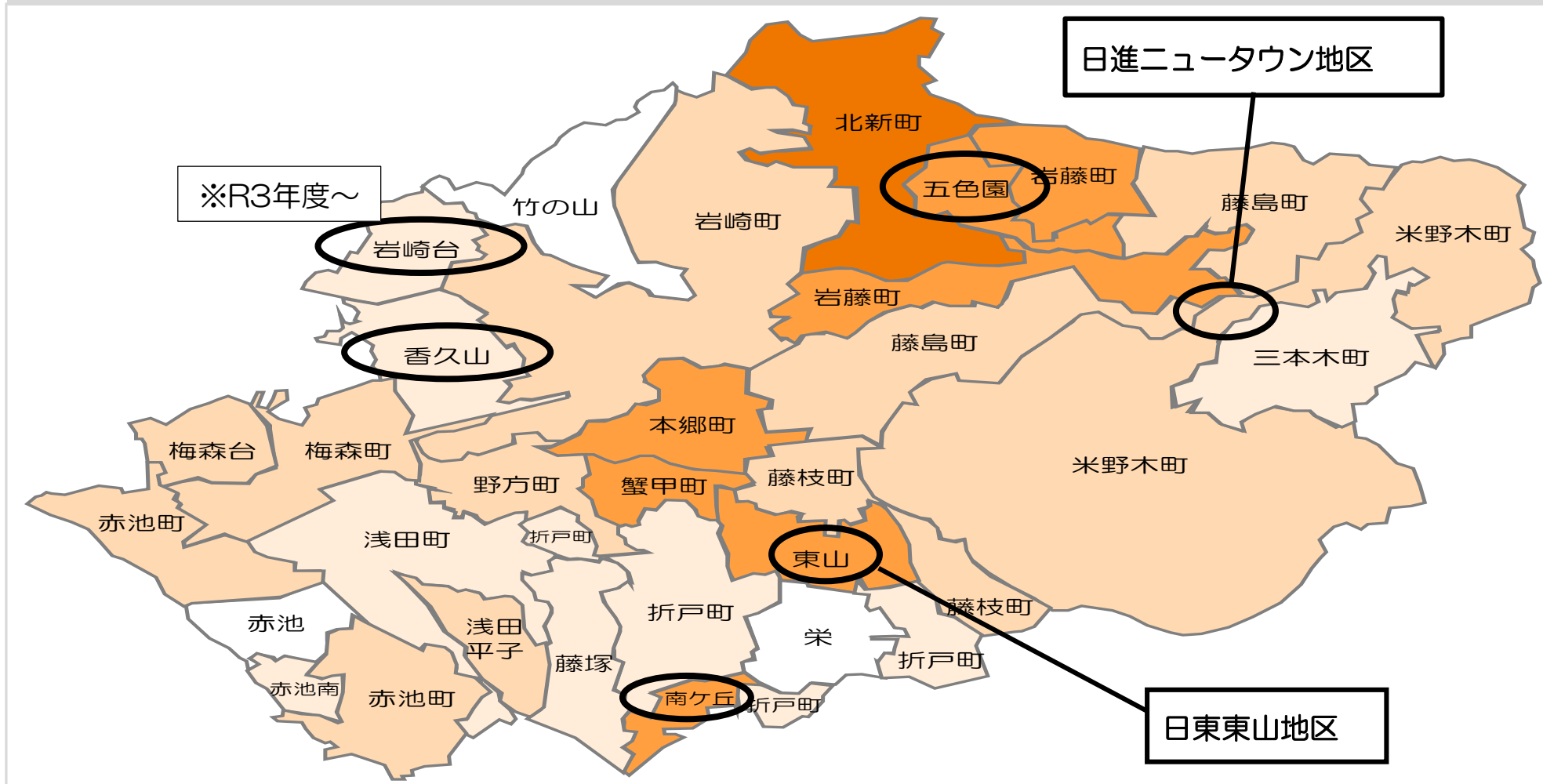
- |          |    |           |    |
|----------|----|-----------|----|
| ・ぜひ活動したい | 0名 | ・もう少し考えたい | 4名 |
| ・活動してもよい | 2名 | ・活動したくない  | 1名 |



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区







# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (令和2年度 実施内容)



## 1 高齢者移動支援推進事業ネットワーク会議

- 学識経験者、タクシー事業者、市内福祉有償輸送運行事業者、モデル事業実施地区の関係者、生活支援コーディネーター等で構成。

第1回（12/14） モデル事業実施の趣旨説明、モデル事業実施状況報告

第2回（3/23） モデル事業実施状況報告

## 2 移動支援に関する勉強会

### ①内 容

- 講演「移動支援の保険」

講師：遠山 哲夫氏（NPO法人移動ネットあいち）

- 保険の説明 「移動支援サービス専用自動車保険に関するご提案」  
「ふれあい活動総合補償保険（移動サービス保険）」

②日 程：令和2年10月22日（木）

③参加者：モデル事業実施地区の関係者 等

SCによる  
企画運営



# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (令和2年度 実施内容)



## 3 ボランティアドライバー養成講座の開催

モデル事業実施地区のドライバー（予定者を含む。）等を対象に養成講座（安全選手講習会）を開催

### ①内 容

講義：接遇介助、住民参加の移動支援事例紹介、運転に必要な知識と心構え、リスクへの備えと対応

実技：運転実技、車いす操作の基本

②講 師：NPO法人移動ネットあいち

③日 程：令和3年1月31日（日）、2月28日（日）

④参加者：モデル事業実施地区のドライバー等

香久山地区	1人	日進ニュータウン地区	2人
五色園地区	4人	日東東山地区	1人
南ヶ丘地区	5人	その他	1人

SCも  
一部受講

今後のしくみづくりの  
支援に役立つように



# 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (令和2年度 実施内容)



## 4 令和2年度第1回にっしん地域支え合い円卓会議 (YouTubeによる配信)

### ①内 容

- ・生活支援体制整備事業が 始まりました／必要となる社会的背景
- ・「日進市高齢者移動支援推進事業」が始まります。

SCによる  
企画運営

### ②日 程：令和2年8月～

## 5 市のリース車両等による移動支援試行運行

- ・移動支援試行実施イメージを参考に、市のリース契約を結んだ車両又は住民ドライバーの自家用車両により、移動支援試行運行を行った。

家事支援一体型：香久山地区、五色園地区（準備のみ）

介護予防一体型：日東東山地区、南ヶ丘地区

その他：日進ニュータウン地区



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



(吹出し) SCが  
活躍した部分

## 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施の考え方

○令和2年度当初の時点で、香久山地区、日進ニュータウン地区は住民主体による移動支援の取り組みが実施開始済み。

地域への働きかけ

○令和元年度に開催した円卓会議後、**生活支援コーディネーターを中心に地域の意向を随時確認**。移動支援の取り組みに前向きな地区に対して、令和2年6月～9月にかけて事業内容を説明。モデル事業への参加を呼びかけ。

○令和2年10月に5つのモデル事業実施地区を選定。日進市とのモデル事業実施業務委託契約を締結。

○5つのモデル事業実施地区は、取組状況の段階が異なる。

○そこで、全ての地区で一斉に同じ取組を進めるのではなく、地区毎、年度毎に取組内容をずらし、取組が先行する地区の課題等を後続する地区の取組に反映させることで、よりよいモデル事業の実施を進める。



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



## 1 香久山地区

○平成29年度に、高齢化社会に向けて、地域の助け合いが必要であるという考え方から検討を開始。香久山たすけあうまちづくり協議会が発足。

地域内の調整  
(反対意見、不安の声)

組織図案の作成

○平成31年4月から、お互い様の理念に基づき助け合う仕組みとして「ワンコインサービス」の運用を開始。

領収書案の作成

○実施形態：ワンコインサービスの一つとして、送迎を含むほっとカフェ、買い物、病院への付き添い支援。(移動支援に係る部分は無償。)

運輸支局への同行

【家事支援一体型】

○実績：病院付き添い支援：5件、買い物付き添い支援：2件  
※ワンコインサービス実施実績：52件

○その他：令和3年度に、ワンコインサービス内容・利便性向上のためのアンケート調査を実施予定。





# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



## 2 日進ニュータウン地区（米野木町地内）

○昭和38年頃に開発された団地で住民の高齢化が進むとともに、駅やスーパーマーケットにも距離のある地区。

○「にっしん地域支え合い円卓会議」において、住民主体の移動支援の事例を知ったことがきっかけ

事務局機能の協力

○実施形態：令和元年11月から、火曜日及び金曜日に、行先をスーパーマーケットに限定した住民主体による買い物移動支援が開始。  
（運転者が買い物に行くついでに、希望者を同乗させるしくみ）

○実績：延べ利用回数 13回

○その他：利用者にアンケートを実施（2件回答）。別の店舗への買い物移動支援を希望する声あり。



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



## 3 五色園地区

- 在宅の高齢者に対し軽度な日常生活の援助を行うワンコインサービスが平成28年12月に開始。
- 平成31年2月に近隣のスーパーマーケットが閉店したことをきっかけとして、ワンコインサービスの新機能として「買い物同行サービス」について検討。

### 運輸支局相談結果の共有

- 平成31年10月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握と支援者（ドライバー）の掘り起こしを兼ねたアンケート調査を実施。
- 実施形態：ワンコインサービスに準じて、買い物同行サービスを実施。  
（移動支援に係る部分は無償。） 【家事支援一体型】
- 実績：令和2年12月からの運行開始していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、年度内は運行を休止。  
利用者登録：4名 支援ドライバー登録：10名  
買い物同行サービスの手引き、利用申請書、実施報告書など、実施に必要な書類等を整備



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



## 4 日東東山地区

○令和2年6月から、定時定路線の運行形態による移動支援の検討を開始。

自治会との調整

説明用動画作成

○令和2年6月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握（利用頻度や希望する行先等）のためのアンケート調査を実施。

アンケート案の作成、実施方法の検討（1年以上）

○「日東お出かけ支援隊」を結成し、令和2年12月から定時定路線での運行を開始。  
運行日数：25日 運行回数：99回 延べ利用者数：161人

（運行形態）

運行日：毎週月曜日及び木曜日（年末年始、祝日を除く。）

運行数：午前3便、午後2便（第1便は予約運行）

路線：つどいの場、公共施設、近隣の病院・スーパーを經由

会費：1世帯 月額600円

整形外科でのヒアリング  
停留場所への依頼

（使用車両について）

令和2年12月～ 市内NPO法人から無償貸借  
令和3年2月～ 市がリース契約した車両を貸与

リース車両確保  
の調整



# 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



## 5 南ヶ丘地区

○令和2年9月に移動支援を考える「おでかけプロジェクト」を立ち上げ。

日東お出かけ支援隊  
との情報交換会

○令和2年10月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握（利用頻度や希望する行先等）と支援者（ドライバー）の掘り起こしを兼ねたアンケート調査を実施。

アンケート案の作成

○南ヶ丘福祉まちづくり協議会内に「南ヶ丘おでかけ支援部会」を立ち上げ、運行形態や運営体制等について検討。

まち協との調整

○令和3年3月23日から定時定路線での試行運行、令和3年5月から本格運行。

運行日数：3日 運行回数：3回 延べ利用者数：28人

（運行形態）

運行日：毎週火曜日及び金曜日 運行数：1日1往復

路線：近隣の駅・スーパーとを往復

会費：一人/年 2,000円

（使用車両について）

市がリース契約した車両を貸与



# 日進市における移動制約者の状況



日進市の人口	総人口	65歳以上人口	高齢化率
令和3年4月1日	92,562人	18,627人	20.1%
令和2年4月1日	91,652人	18,385人	20.0%

1 要支援・要介護認定者数（令和3年3月31日時点） ※（ ）内は前年（以下同じ。）

区分 (単位：人)	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
65歳以上 (第1号被保険者)	453 (440)	558 (515)	596 (555)	429 (422)	335 (309)	371 (362)	254 (269)	2,996 (2,872)
40~64歳 (第2号被保険者)	7 (4)	15 (18)	3 (3)	12 (12)	7 (6)	12 (9)	9 (9)	65 (61)
合計	460 (444)	573 (533)	599 (558)	441 (434)	342 (315)	383 (371)	263 (278)	3,061 (2,933)





# 日進市における移動制約者の状況



## 2 身体障害者児数（身体障害者手帳交付者）（令和3年4月1日時点）

区分 (単位：人)	等級						合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
65歳以上	447 (441)	161 (161)	299 (309)	331 (325)	67 (69)	67 (63)	1,372 (1,368)
18～64歳	182 (179)	94 (89)	117 (118)	115 (113)	36 (39)	30 (30)	574 (568)
18歳未満	15 (14)	22 (21)	12 (13)	7 (6)	4 (4)	1 (1)	61 (59)
合計	644 (634)	277 (271)	428 (440)	453 (444)	107 (112)	98 (94)	2,007 (1,995)



# 日進市における移動制約者の状況



## 3 知的障害者児数（療育手帳交付者）（令和3年4月1日時点）

区分 (単位：人)	判定基準			合計
	A判定	B判定	C判定	
65歳以上	5 (6)	6 (6)	1 (0)	12 (12)
18～64歳	115 (108)	63 (61)	62 (61)	240 (230)
18歳未満	63 (65)	37 (32)	90 (79)	190 (176)
合計	183 (179)	106 (99)	153 (140)	442 (418)



# 日進市における移動制約者の状況



## 4 精神障害者児数（精神障害者保健福祉手帳交付者）（令和3年4月1日時点）

区分 (単位：人)	等級			合計
	1級	2級	3級	
65歳以上	50 (53)	57 (56)	14 (14)	121 (123)
18～64歳	56 (53)	351 (314)	171 (157)	578 (524)
18歳未満	2 (1)	48 (43)	39 (42)	89 (86)
合計	108 (107)	456 (413)	224 (213)	788 (733)

## 5 難病患者数（令和3年3月31日時点）

指定難病特定医療費公費負担対象者（単位：人）

479

令和2年3月31日時点 405

移動制約者合計（重複有り。単位：人）

6,777人

平成31年3月31日時点 6,484人



# 福祉施策に関するアンケート調査



1 にっしん高齢者ゆめプランアンケート調査（調査時期：令和2年1月～2月）

	一般高齢者等	在宅要介護等認定者
調査対象者	日進市在住の65歳以上の方 で要介護認定を受けていな い方	日進市に在住し、要支援・ 要介護認定を受け、在宅で 暮らしている方
標本数	2,500件	1,200件
有効回収数	1,517件	725件
有効回収率	60.7%	60.4%

- 一般高齢者等

問 日進市の高齢者福祉施策に関して、どのようなことを望みますか。

- 在宅要介護等認定者

問 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて

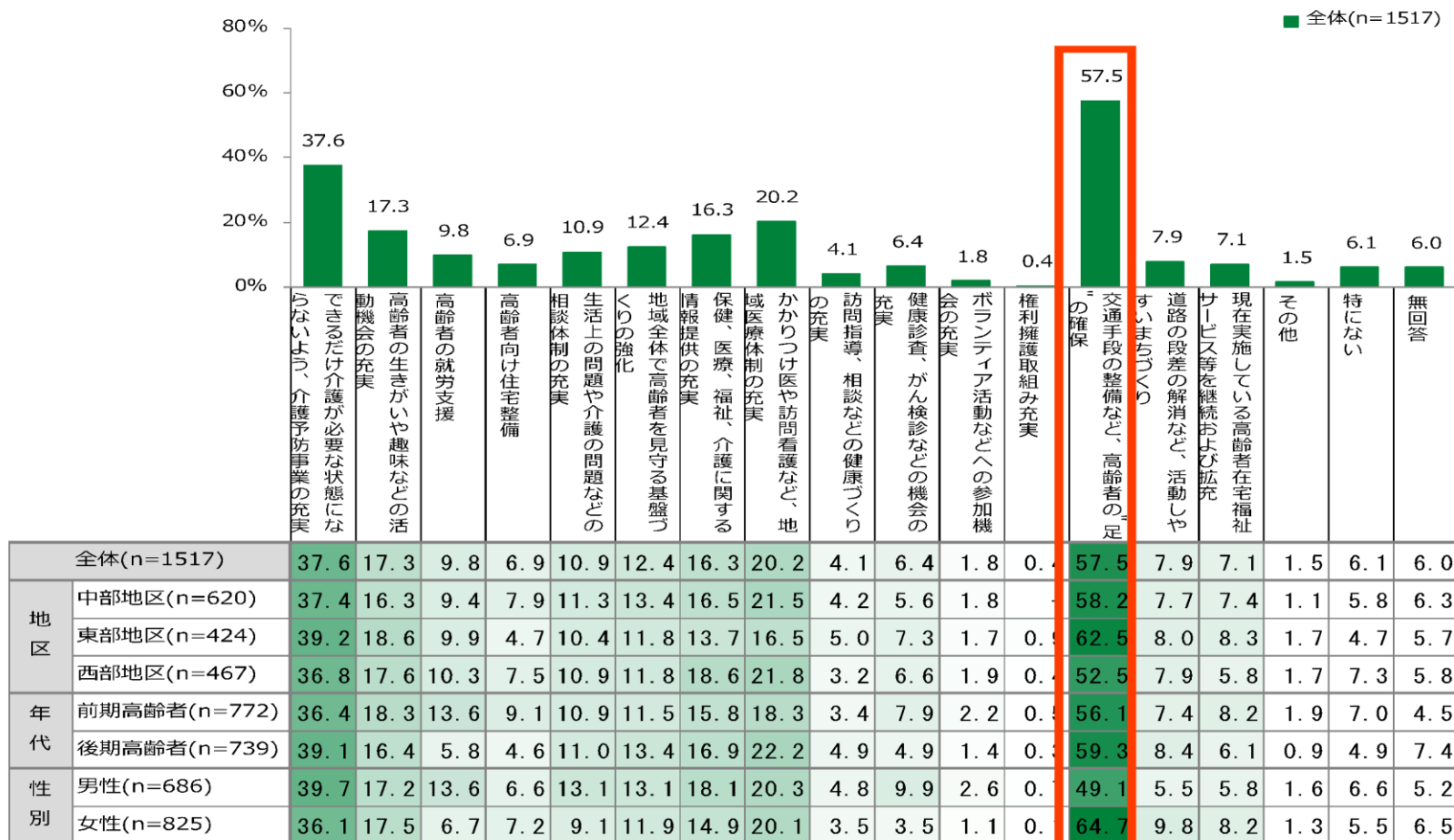
問 日進市の高齢者福祉施策に関して、どのようなことを望みますか。



# 福祉施策に関するアンケート調査



図表 128 日進市の高齢者福祉施策に望むこと（一般高齢者）



出典「にっしん高齢者ゆめプランアンケート調査 調査結果報告書」（令和2年4月）

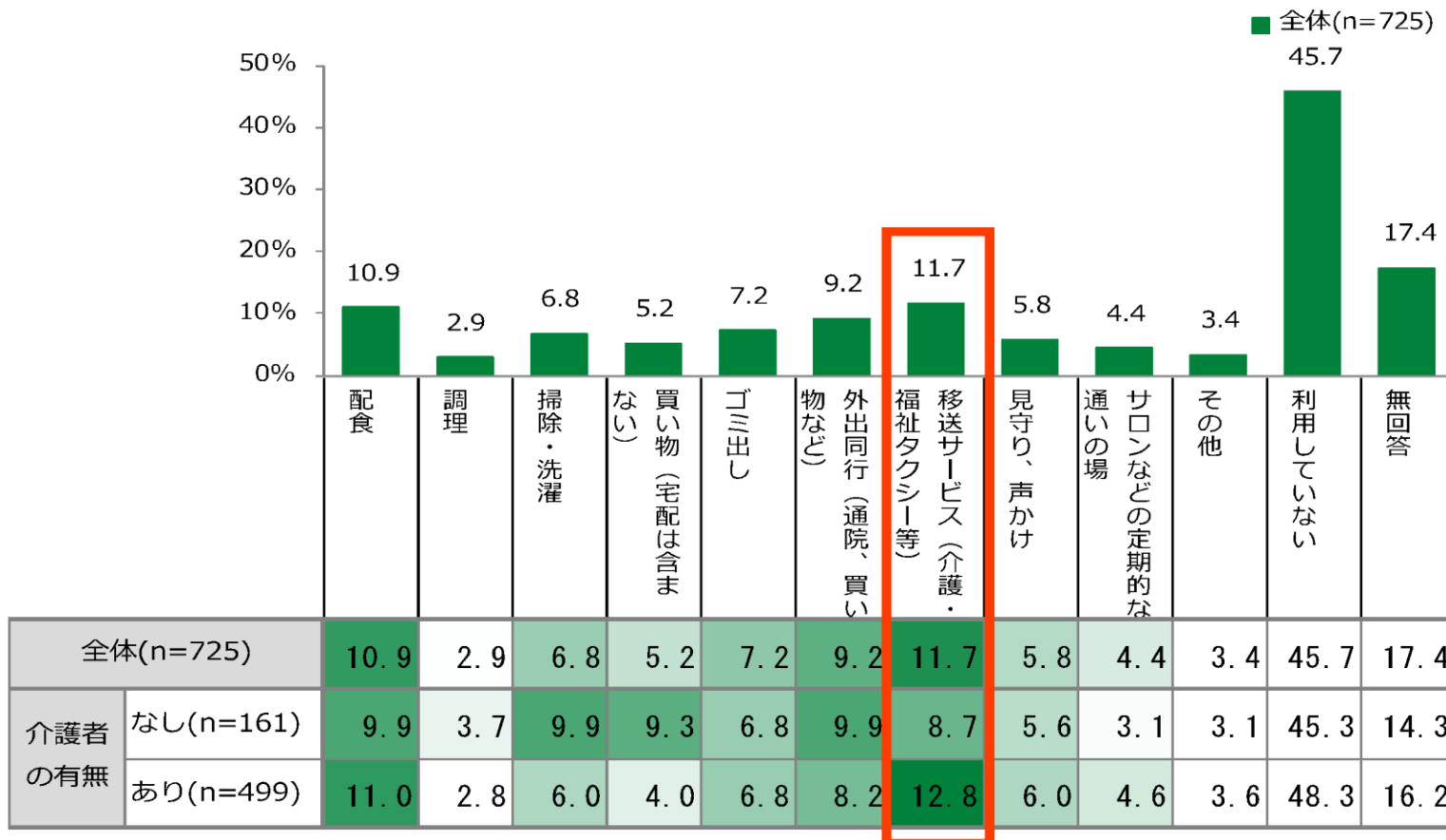




# 福祉施策に関するアンケート調査



図表 144 利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス



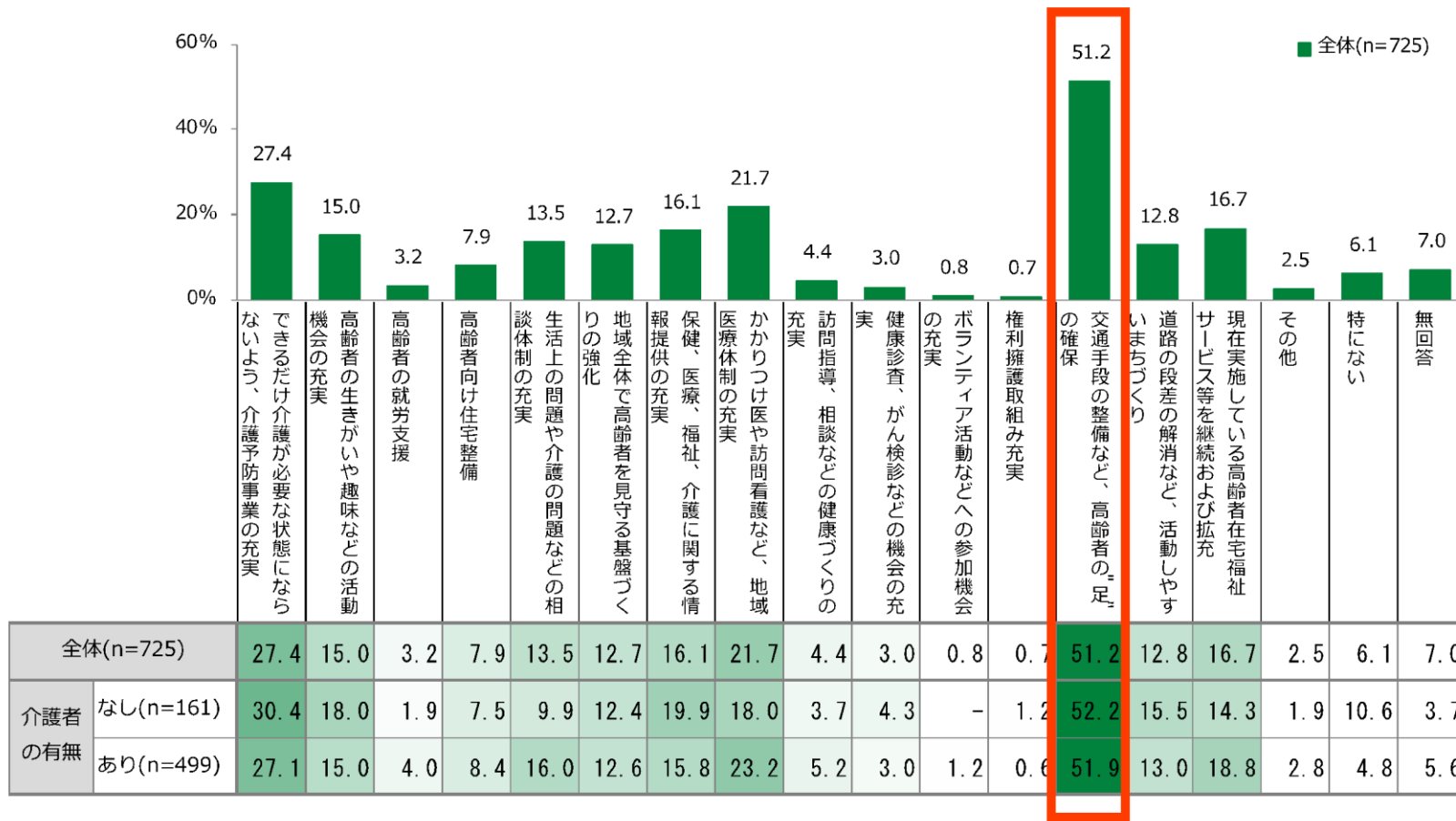
出典「にっしん高齢者ゆめプランアンケート調査 調査結果報告書」(令和2年4月)



# 福祉施策に関するアンケート調査



図表 166 日進市の高齢者福祉施策に望むこと（在宅要介護等認定者）



出典「にっしん高齢者ゆめプランアンケート調査 調査結果報告書」（令和2年4月）



# 福祉施策に関するアンケート調査



2 日進市福祉に関するアンケート調査

(調査時期：令和2年4月～5月)

	サービス利用者
調査対象者	障害福祉サービスなどを利用されている方
配布数	909通
有効回答数	427通
有効回答率	47.0%

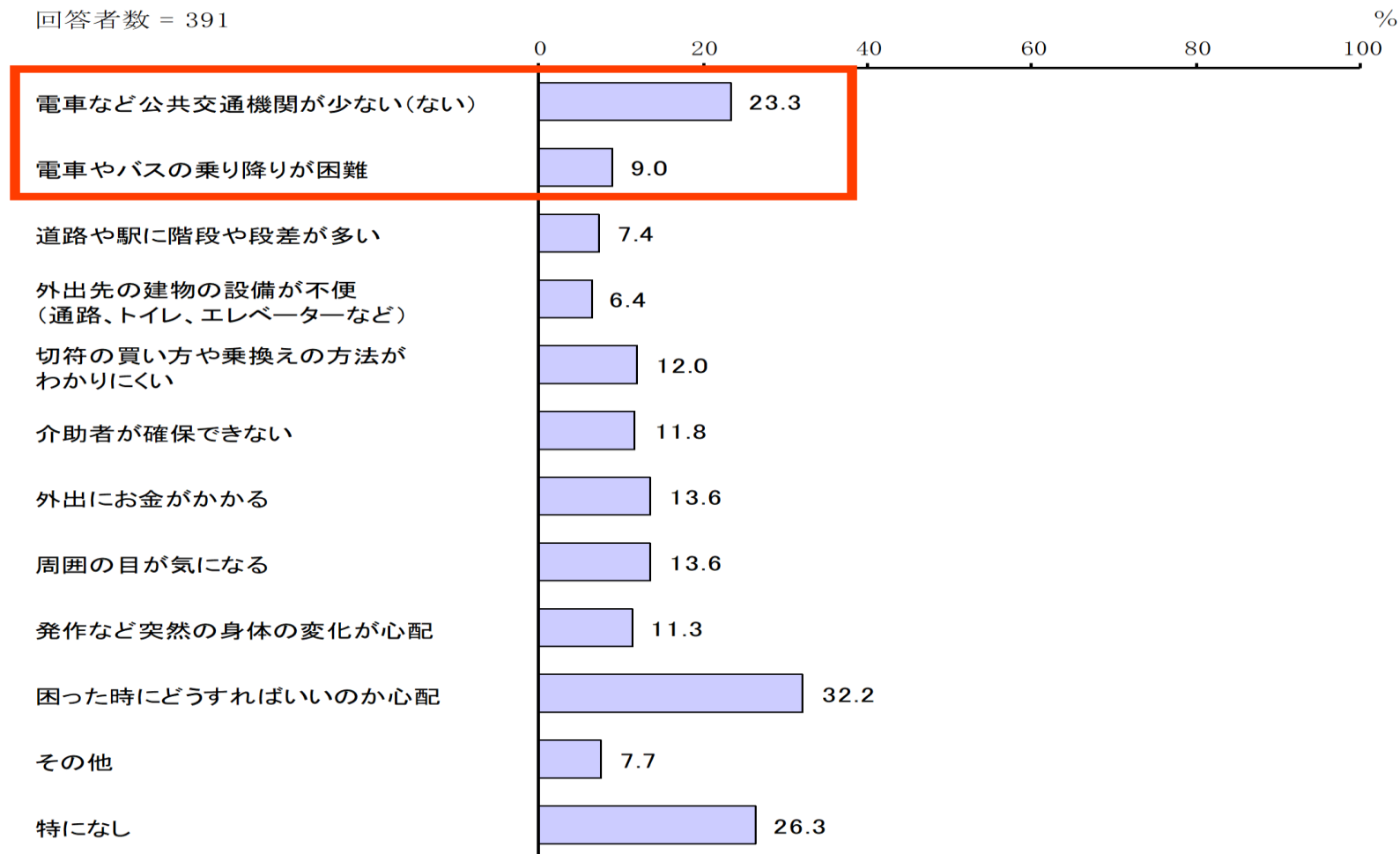
- サービス利用者  
問 外出するときに困ることは何ですか。



# 福祉施策に関するアンケート調査



回答者数 = 391



出典「日進市福祉に関するアンケート調査 結果報告書（利用者）」（令和2年7月）



# 福祉施策に関するアンケート調査



## 3 日進市福祉コミュニティ調査（調査時期：令和元年6月）

	サービス利用者
調査対象者	日進市内の世帯主（18歳以上）
配布数	2,474通
有効回答数	990通
有効回答率	40.0%

- 自由意見のうち、およそ4分の1にあたる112件で交通に関する意見。
- 特に70歳以上の方からは「運転免許証返納後の交通手段に対する不安」「くるりんばすの充実（双方向運行や増便）」「くるりんばすを含めた買い物、通院等への移動手段の確保」に関する意見が多い。





# 野村 圭一

Keiichi Nomura



〒470-0192 日進市蟹甲町池下268  
日進市健康福祉部地域福祉課  
TEL:0561-73-1484 FAX:0561-72-4554  
E-mail:n924\_nomura@city.nisshin.lg.jp